主催：宮城県、宮城県建築物等地震対策推進協議会
運営受託者：一般社団法人宮城県建築士会

令和8年度　被災建築物応急危険度判定実地訓練

宮城県及び宮城県建築物等地震対策推進協議会では、大地震発生後の余震等による二次災害を防止するために、建築物の危険度を判定する「被災建築物応急危険度判定」の実地訓練を実施します。

本訓練では、実際の建築物を用いた判定を通じて、被災建築物応急危険度判定士の技術向上を図るものです。

記

1　開催日時・会場

開催日時	会場
令和8年10月29日（金）13時30分～16時	旧大河原商業高等学校 （柴田郡大河原町大谷字西原 154-6）

2　スケジュール

時間	内容
13:00	（受付開始）
13:30～14:30	調査表・ステッカーの記入にあたってのポイント解説
14:30～15:30	外観目視による判定実地訓練 ① 木造建築物 ② S 造建築物 ③ RC 造建築物
15:30～16:00	講評
16：00	終了

3　受講対象者

・被災建築物応急危険度判定士
・行政職員（被災建築物応急危険度判定士の資格の有無は問いません）
※当訓練に参加した行政職員は、建築行政経験3年未満であっても、被災建築物応急危険度判定技術者講習会の受講及び判定士登録が可能となります。

4　持参物

必須	判定士登録証（お持ちの方）、油性マジック、ボールペン、バインダー、ヘルメット
推奨	下げ振り、コンベックス、クラックスケール、腕章、飲料水、雨具、防寒具

5　申込方法　10月23日（金曜日）までに、下記リンク又はQRコードより申請

https://logoform.jp/form/GQGB/1768570

6　備考

（1）天候により開催中止となる場合があります。
（2）主催者による記録用の撮影を行い、主催者の広報資料等に掲載する場合があります。
（3）メディアによる取材が入る場合があります。
以上3点について、あらかじめご了承ください。